

あきる野市の小学校

増戸小学校



校長 遠藤 裕孝 副校長 栗原 郁夫

教育目標

- 考える子ども…よく学び、深く考え、正しい判断のできる子ども（今年度の最重点）
- 進んで行動する子ども…向上心をもち、積極的に行動する子ども
- 健康な子ども…基本的な生活習慣を身に付け、十分に運動する子ども

【今年度の重点的な取組】

- 26年度「増戸学園」開校をめざし、小中一貫教育の計画、整備を進めます。
- 特別支援教育を更に充実させることをめざし、一人一人の児童の「できた」体験を増やし、自信を持たせます。
- 東京都教育委員会の「防災教育推進校」（都で3小学校）の指定を受け、防災教育と、防災体制の充実を図ります。

【学校の特徴】

学区は自然に恵まれ、東京都里山保全地区「横沢入」での自然体験や米作り、秋川での化石探し、周囲の山々を歩き自然に触れる遠足など、いろいろな自然学習を展開しています。

地域の方々とのつながりも深く、「登校時のあいさつ運動」、地域の特産野菜「のらぼう」栽培とそれを使ったおやき作り、270名以上の「学童安全ボランティア」の活動など、学校地域が一体となって教育活動に取り組んでいます。

また、授業時間外に活動する陸上クラブと吹奏楽団の課外クラブがあり、複数の教師が関わり児童の個性を伸ばしています。陸上では、駅伝大会やスポレクでの好成績につながり、吹奏楽団は、キララホールでのあきる野市音楽祭をはじめ年間10回程の演奏を披露しています。

五日市小学校



校長 篠原 敬子 副校長 中島 靖二

教育目標

- 自分で考える子
- 進んで人とかかわる子
- 最後までやりとげる子

【学校経営方針】

○戸五小統合プロジェクトの推進

☆小宮小学校との統合を終え、今年度は、戸倉小学校との統合に向けて、児童、教職員、地域と様々な交流を通じた教育活動を推進していきます。

○当たり前のことを丁寧に教えて子どもが輝く五日市小

☆活気と魅力があふれる学校

☆信頼される学校

☆規律と品格のある子ども

☆授業力を磨く教師集団

☆組織的な学校運営

五日市小学校では全教職員の英知を集結して知育・徳育・体育・芸術・勤労のバランスの取れた児童の育成を全力で目指します。開校明治6年。校長室には歴代の校長先生の写真がずらりと並び、五日市小学校の発展を静かに見守っています。また、廊下や教材室には明治時代からの卒業写真が並び、歴史の重さを感じられます。

由緒ある木々に囲まれた校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、50年以上の輝かしい歴史を刻んでいます。

平成24年度より、138年の歴史に幕を閉じ、閉校した小宮小学校と統合し、新たな一歩を踏み出しました。

戸倉小学校が五日市小学校と統合します

戸倉小学校は、平成25年3月末をもって閉校し、4月1日に五日市小学校と統合します。

明治6年に開校して以来139年の歴史を誇る戸倉小学校は、これまで地域の人々と共に歩んできました。小規模校の特色を生かし一人一人に応じた指導を実践し、豊かな感性と温かい心、自ら学ぶ力をはぐくむ教育を実践してきました。

また、昭和42年には愛鳥モデル校の指定を受け、以来今日まで「自然から直接学ぶ」を基本として愛鳥教育を柱とした特色ある教育を実践しております。

しかし、児童数の減少が進み、今後も増加する見込みがたたないことから、教育委員会では、子どもたちの教育環境向上には、五日市小学校との統合が望ましいと判断し、保護者や地域と継続的に協議を行ってきました。

その結果、統合について保護者や地域の理解が得られたため、平成25年3月末で戸倉小学校を閉校することについて市議会に諮り、統合が決定されました。

今後は、児童の安全対策や通学手段について、また、施設の活用方法等について地域の方々と検討を進めていきます。

戸倉小学校



校長 工藤 淳一 副校長 宇治 昭秀

教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、特色ある教育を展開するなかで、確かな学力を身に付けさせることともに、豊かな人間性、創造性を育て、心身とも健康で、自ら学び実践する児童の育成に当たる。

- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 思いやりのある子
- ◎ 体を大切にする子

【教育方針】

- (1)小規模校の特色を生かした教育活動を展開する
 - *個に応じた決め細やかな指導を行い、確かな学力を付ける。
 - *特別支援教育を推進する。
 - *地域の教育力を生かした活動を展開し、かかわりの中で豊かな感性を養う。
- (2)愛鳥活動をとおり自然から学ぶ
 - *生活科・総合的な学習の時間を中心に野鳥と環境のかかわりを考えさせる。
 - *愛鳥活動をとおり、地域の環境について学ぶ「環境教育」を充実させる。
- (3)連携を重視した教育活動を推進する。
 - *地域・保護者との連携を密にする。
 - *25年度からの統合に向けて五日市小学校と連携を深める。
 - *教育相談部・特別支援教育部を充実させる。
 - *安心・安全の取組を充実させる。
 - *小中一貫教育の充実に向けて、五日市中学校と連携して取り組む。

戸倉小学校は名山「城山」を背に木々が美しく季節を彩り、遠く秋川の瀬音が心とませる、まさに日本の原風景の中に建っています。

地域の人々は「模範村戸倉」の精神を受け継ぎ、「おとなが手本のあきる野市」そのままに、豊かな人間愛と厚い人情にあふれ、常に子どもを見守り、学校とともに育てようとする気概があります。

20名の子ども達は、明るく素直で思いやりが深く、学習にも自ら進んで取り組んでいます。普段から全校児童が一緒に遊び、給食を食べ、生活をともにし、互いに高めあっています。

学校は、そんな子ども達の日々の「学び」を、毎日更新するホームページで、保護者・地域に発信し、開かれた学校づくりを進めています。

あきる野市の中学校

秋多中学校



校長 佐藤 敏数 副校長 飯塚 信也

教育目標

いのちの尊さを深く自覚し、たくましく生き、すすんで社会の発展につくす人の育成を図り、以下の3つの生徒像の実現をめざす。
○ ゆたかな心を育てる
○ たくましい体をつくる
○ しなやかな個性を磨く

【学校の特色】

「いのち」を、生命だけでなく人権尊重なども含んだものととらえ「いのち尊ぶ教育」を推進しています。

また、生徒・保護者・教職員といった学校にかかわるすべての人にとって「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」を目指して日々教育活動に取り組んでいます。

秋多中学校では、朝は「おはようございます」という気持ちの良い挨拶と始業前の10分間読書から学校生活が始まり、活発な部活動で一日が終わります。

「一人一人の学力の確実な定着と健康増進及び体力の向上と豊かな体験活動を通して個性と創造力を伸ばすこと」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学力面では、国語と数学、英語で習熟度別少人数指導を実施します。また、長期休業中と定期試験前等を中心に補充学習を行います。スポーツ活動の理解と体力の向上を図るために、保健体育の授業をチームティーチングで実施し、きめ細かい指導を行います。

「いのちを尊ぶ教育」活動では、1年は「いのち」をテーマに調べ学習、2年は福祉施設での職場体験活動、3年は「生き方」について学習します。本校は、今年で創立55周年を迎えました。「GO!GO!秋多」として、前へ前へ進んでいきたいと思ひます。

東中学校



校長 曾我 有二 副校長 高島 昇

教育目標

社会の変化に対応できる、心身ともに健全な社会人の育成を目指して
○よく考え最後までやりぬく人
○豊かな心をもち思いやりのある人
○常に自分を高めよう

東中学校の教育目標は、先行き不透明で変化の激しい社会、さらには、今、東日本大震災で受けた未曾有の被害から日本国民が一丸となり立ち直っていくための指針にもつながっていると考えます。正に今家庭、地域社会で求められているものです。それに応えるべく、あきる野市の教育の原点をぶらさず、東中の校風・伝統の維持と発展を目指して、教育目標に沿った生徒の育成を推進し、生徒はダイヤモンドの原石という思いのもと、「自信と誇りと信頼の東中」づくりを進めます。

特に24年度は、「豊かな心を持ち思いやりのある人」を重点目標とします。

そのための東中の今年度の基本方針のキーワードは以下のとおりです。

- 1、人権教育の向上 2、特別支援教育の充実 3、豊かな社会性や社会貢献の精神を養う 4、基礎基本の確かな学力をつける 5、健全な心とたくましい身体をつける 6、道徳教育の向上 7、地域に開かれた学校づくり 8、創造的な態度と資質を養う 9、小中一貫教育の実現 10、安全で安心な学校

です。学校のホームページにも詳しい内容を掲載していますので、ご覧ください。

※来年度40周年記念式典の予定です。そのための準備も行います。ご協力をお願いします。

西中学校



校長 山崎 雅司 副校長 川杉 稔

教育目標

自主性を養い 個性を伸ばし 人に尽くし 社会に役立つ人を目指す。

- よく考えて 本気でやる。(本気)
- 明るく 元気にすすむ。(元気)
- 根気よく成し遂げる。(根気)

西中学校は、すばらしい教育環境の中で、生徒が知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。「知」の面では、各教科の学習をはじめ、朝読書をととした理解力と表現力の充実に真剣に取り組んでいます。「徳」の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心にした障がいのある人との交流・体験を通して、「思いやりの心」をしっかりと培っています。「体」の面では、体育大会や行事に積極的に取り組み、強く美しい競技・演技を目指しています。ラジオ体操の美しさは日本一です。また、多くの部活動で東京都のトップレベルの成績を目指しています。

経営のコンセプトは「思いやる心」。そして学校経営の柱(スローガン)は「一人ひとりの生徒に居場所がある西中学校」です。今年度は特に次のことに重点的に取り組みます。

- 1 学力向上 2 いじめ・不登校ゼロへの組織的な取組
- 3 体力向上 4 小中一貫教育への取組
- 5 キャリア教育の充実 6 人権教育の推進
- 7 健康・安全指導の充実 8 家庭・地域との連携
- 9 情報教育の推進 10 環境教育の推進 11 部活動の推進

御堂中学校



校長 村田 晃彦 副校長 木下 美彦

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、自主・自立、真理の探究の精神に富み、心豊かでたくましい生徒を育成するため次のように教育目標を掲げています。

- 自ら学び自ら考え実行する生徒(自主)
- 理想に向かって向上努力する生徒(努力)
- 美しい心たくましい体の生徒(健康)

- (1)分かる授業の一層の推進と知識の活用力を身につかせ、学習意欲の向上を目指します。また、家庭学習を習慣化させるための実践を進めていきます。
- (2)教育相談部を中心に、生徒の心のケアや不登校生徒への指導をスクールカウンセラーとともに組織的な相談活動を行い、いじめ・不登校ゼロを目指します。
- (3)一人ひとりの生徒の期待に応えるために、特別支援教育を組織的に推進します。
- (4)学区小学校と連携し、保護者、地域の方々の協力を得ながら、9年間を見通した教育活動をすすめ、一人ひとりの生徒の持つ可能性を最大限に伸ばします。

御堂中学校は、草花丘陵を背に、南に平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む自然環境に恵まれた地域です。保護者・地域の方々は本校の教育に大きな期待を寄せ大変協力的です。

生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会ではより良い人間関係づくりを目指して、「あいさつは御堂の顔」をスローガンに取り組んでいます。また、生徒会活動による環境への意識を高めるために今年度も「モックイナイ運動」に継続して取り組みます。さらに緊急災害時等で、「自助」「共助」ができる力の育成に努めます。